

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	保育士人材確保事業							予算事業名	保育士人材確保事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	主要事業(6次総非掲載)			
			03	02	01	2501	経常経費					
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 未来を担う子どもを育む環境づくり 保育環境の充実							事業の区分				
								担当課係等	子ども福祉課 保育係			
事業期間	継続 (令和 4年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
待機児童対策及び保育の担い手の確保のため、保育士資格の新規取得者の確保、保育士の継続就労支援、潜在保育士の再就職支援を行う。							年度途中の待機児童が発生しており、その原因の一つに保育士不足による受け皿の不足があり、他市においては同様の事業が既に開始されている。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
①新卒保育士確保のため、就労支援事業補助金(就職祝金)により、市内保育所等に就職した新卒保育士に祝金を支給 ②新卒及び潜在保育士等の確保のため、保育施設見学ツアーを開催する							市内保育所等に就職する保育士、保育の担い手の確保を目指す幼児教育・保育施設					
							【事業をとりまく環境の変化】 全国的に保育士が売り手市場になっており、市内保育所等の保育士の確保が年々困難になってきている。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
・補助金の交付(就職祝金) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・保育施設見学ツアーの開催				・補助金の交付(就職祝金) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・保育施設見学ツアーの開催				・補助金の交付(就職祝金) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・保育施設見学ツアーの開催				

■事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	490	513			
歳入計(千円)		490	513			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	07 報償費	0	15			
	10 需用費	88	88			
	11 役務費	2	10			
	18 負担金補助及び交付金	400	400			
歳出計(千円)(A)		490	513			
伸び率(%)			4.69			
備考	総合計画 ページ 予算書 100ページ					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	就労支援補助金の支給	人	目標	5.00	4.00	4.00
			実績	4.00	0.00	0.00
	保育施設見学ツアーの開催	回	目標	2.00	1.00	1.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	支給者の継続就労者	人	目標	2.00	3.00	3.00
			実績	2.00	0.00	0.00
	ツアー参加者の市内保育施設就職者	人	目標	3.00	2.00	2.00
			実績	1.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	例年、年度途中で待機児童が発生しており、保育士不足が原因の一つとなっている。また、県や他市においても同様の事業が実施されており、人材確保のためには必須の事業となっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市町村には保育の実施義務があり、公立保育所において自ら実施するか、民間保育所へ委託するかのどちらかで実施しなくてはならない。保育の実施主体が市である以上、委託している民間保育所の保育士人材確保についても行政が実施することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	就職祝金、保育施設見学ツアーについては、県や他市においても同様の事業を実施しているため妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	中高生や資格を持っていない参加者が多数いるため、即就職には結びつかない可能性がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	直接的な受益者は限られるが、継続就労すれば市に有益である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	ツアーの年度内2回以上の実施は業務量的に困難であり、また、保育施設における負担が増加する。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	中高生の参加が増加傾向にあり、保育現場の具体的な理解促進を図ることで、将来的な就業に繋がる可能性がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ツアーは年度内2回の実施としているが、1回毎の参加人数が少ないため、保育施設や参加者の意見を受け、実施回数や広報活動の方法を見直す必要がある。 また、中高生や資格を持っていない参加者が多く、即就職には結びつかない可能性がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業を継続していくなかで、事業実績や保育施設および参加者の意見を受け、改善・改革をしていく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 保育士不足が懸念されており、年度途中の待機児童問題の原因の一つでもある。参加者や市内保育施設の意見を参考にし、開催時期等の改善をしながら事業の実施に努めていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
管理課連絡欄